



自信・笑顔・希望の提供

真友ゼミ通信

2022年2月号



真友ゼミからのお知らせ

- ・受験生は出願状況や受験結果などを随時教えてください。
- ・感染が拡大しています。引き続き手洗いや消毒などご協力をお願いします。



【進路・受験コラム】合格を目指す＝「確率」を上げていくこと

共通テストから一息つく間もなく、2月は国公立大の二次試験に向けた勉強に切り替え、同時に私大入試も進めていく時期です。この慌ただしい受験本番期間をおよそ1年後に経験するのが2年生(=新3年生)ですが、2年生の2月は学校によっては模試がある月ですね。

これまでも模試を何回か受けており、そのたびに志望校判定をもらっているかと思いますが、その判定を見て早々に「もうダメだ。諦めよう。」となっていないですか？そう思うのはまだまだ早いです。

模試の志望校判定とは、すなわち「**合格可能性評価**」になります。

多くの受験生が受けている河合塾の模試の場合、**【A判定=合格率80%以上、B判定=65%、C判定=50%、D判定=35%、E判定=20%以下】**という基準が設定されています。あくまでも、模試を受けた時点での合否の可能性が示されているだけです。そう考えると、なにも悲観することなく、これから**合格できる確率を上げていけば良いだけ**の話になります。

高校生の中には、「0か100か」でしか考えられない人がいます。「絶対合格できる」か「絶対に落ちる」かの両極端な思考になりがちです。そうではなく、例えば今の合格可能性が35%であれば、10%でも5%でも可能性を上げていく努力をしましょう。模試の結果には、各単元の得点も記載されています。英文法が全然取れていないなら、英文法をマスターして可能性+5%。一次関数が苦手なら、それをマスターしてさらに+5%。こんな風に模試で解けなかった単元を確実にできるようにして可能性のパーセンテージを上げていきましょう。

大学受験は、最後の最後まで諦めずに「可能性」を伸ばし続けた人が合格します。



今年の共通テストについて 英語担当 中山（新潟校）



今年で2回目となった共通テストですが、英語のリーディングもリスニングもともに問題それ自体の難易度に全体としてほとんど変化なく設問形式の変化もごくわずかでした。ただしリーディングの総語数が昨年より500語ほど増加しており（約6000語）、500語というのはだいたい標準的な長文問題1問分の語数です。**もともと語数が多すぎて試験時間80分では読み切れない分量だったのにますます読み切れなくなりました。**

それは、共通テストではそもそも**全文を熟読することが想定されていない**からにほかなりません。共通テストを作成している大学入試センターが明らかにしている試験の作成コンセプトは「**英文の概要や必要な情報を素早く読み取る力を試す**」です。素早く全文を読む速読の能力を試そうとしているのではなく、設問の解答に必要な情報を本文中に素早く見つけ出す力、すなわち「**情報検索力**」を試そうとしているのです。英文の概要把握も単に文中のキーとなる部分を速く的確に見つけ出す力を試しているだけです（リスニング問題もこの力を試しています）。

共通テストは英文一文一文を丁寧に日本語に直して読んでいく解き方を想定して作られていません。英文自体は非常に易しいけれど、80分で6000語もの英文を設問に解答しながら読まなければいけない。英文を一文一文きっちり日本語に訳せる力は大前提であって（この力は国公立二次試験で試されます）、**訳せる力だけでは共通テストには通用しません。**

詳しくは春期講習で説明しますが、こうした素早い情報検索力を身に付けるには模試の問題を解く際に**設問の求める情報が何かを把握して本文にそれを探しに行く読み方を実践し習熟する必要があります**。挑もうとしているテストが測りたい能力を身に付けられない限り、いくら受験勉強しても意味がないのです。



今年の共通テストについて 数学担当 小笠原（仙台校）



数ⅠA、数ⅡBともに第1問から第5問まであり、後半3題のうち2題選択という形は例年通り。文章量が例年増えているという点も想像通りでした。

ただし、問題文の中身や出題方法が少しひねられていたため、従来の数学の問題ばかり練習してしまった受験生は一見初めて見るような問題と錯覚してしまい、相当戸惑ってしまったと思われます。

今回の問題は計算式や図が表示されている問題が多いので、それをヒントに解答していけば解けなくはないので、普段からそのような解答作成を練習している受験生は対応できたかと思います。ただ、それが時間内にできるかどうかは練習量とその中身の濃さに関係してきます。数学ですので、計算して答えを出すということが一番の基本になります。そこからがスタートであり、関数にしても数列やベクトルにしてもなぜそのような計算をしていくかという過程を理解することが必要になります。そこが理解できてくると、計算に必要な材料を問題文から探していくことができます。そのために普段から問題文や図、グラフを利用して解答していく練習が必要になりますが、今回はその部分で差が出てしまったかと思います。

昨年度から共通テストに変わり、出題傾向が変わっていることは周知されていますが、対策用の問題はまだ十分に供給されていません。ただ、解き方の本質を探る上では従来の問題でも十分できますので、学年問わず今からその準備を進めていきましょう。



ワンポイント学習方法（今月担当：仙台校 小笠原）



今年の共通テストの数学は時間内で解答するには大変な問題が多かったと思います。なぜ大変なのか。それは**学校での勉強と受験のための勉強の差があるからです**。答えだけを求める問題のみならず解き方を考えさせる問題も出題されていますが、そこがなかなか練習しづらいところです。まずはできるところから始めましょう。普段、計算したあとに検算をしていますか？やりっぱなしになっていませんか？計算ミスは雑な計算から生まれます。

そのまま誤答を生み出してしまいうよりは、多少時間がかかっても確認しながら計算する癖をつけましょう。慣れるとスピードが向上しますし、計算のポイントも見えてきます。また立式が難しいからと文章題をそのまま放置していませんか？式を立てるには問題の中身を理解していないとできませんが、なぜそのような式になるのかを考えることで次第に理解していけます。**いずれにせよ自分から手を動かさないと先に進みません**。周りのアドバイスを受けながら、まずは手を動かし続けましょう。



真友ゼミ 各校舎のようす

▼出願先の相談中（三条校）



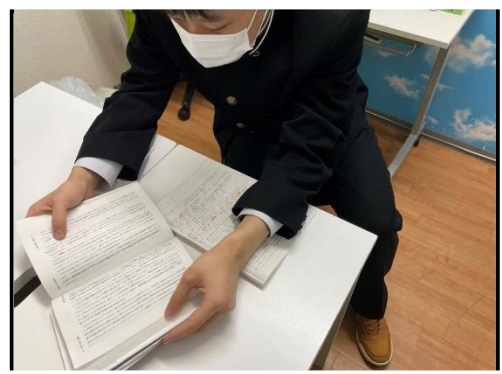
共通テストの自己採点結果をもとに、出願する大学を最終決定するための面談を行いました。面談後は早速、これからの試験対策に切り替えて、集中して学習に向かう生徒の姿が見られました。

国公立二次試験、私立大の入試まであと少し。最後まで一緒に頑張っていきましょう！

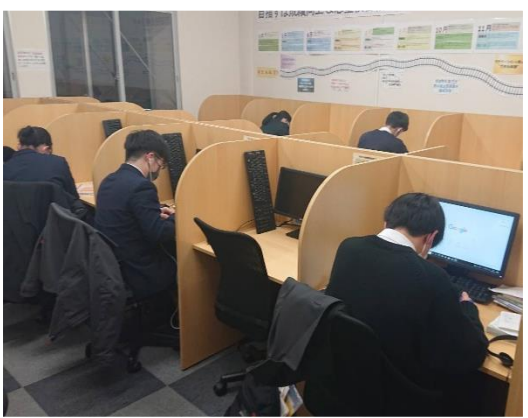
共通テストを終え、あとはひたすら個別試験対策！写真の生徒は現代文の添削中。共通テストとは違い、国立二次は論述中心なので、勝手の違いに戸惑うことも多いかと思います。

自信が持てない時は僕たちに見せてください。
国語・英語・小論文まで添削しますよ！

▼個別試験に向けて！（上越高田校）



▼雪の日もがんばろう！（六日町校）



南魚沼では新潟市内と比べると緩やかですが、徐々にオミクロン株の感染が広がっています。今後も教室の衛生環境を整えていくとともに、塾生の皆様、ご家族の皆様も一層感染予防にご注力頂きたく存じます。

さて、六日町では新年早々から断続的に豪雪となり、この記事執筆している最中も大粒の雪が窓に積もっています。そんな天候の中でもコンスタントに教室に来てくれる子たちのためにも、本日も六日町校開校中です！



スタッフから今月のひとこと



六日町校塾長：山口

受験生最大の山場、共通テスト。全国の受験生の皆さんが自身の戦いの場に赴き、各々が全力を尽くしてくれたと思います。各塾長のもとには、受験した生徒からの自己採点結果が続々と集まっており、今後の受験方針、戦略を練っている真最中です。新型コロナ第6波が襲来し、受験生は偏差値、合否判定だけでなく、例年以上に様々な要素に苦戦を強いられています。それでも真友ゼミは最後まで戦う受験生の味方です。皆さんの力となるべく、最後までサポート致します。どうぞよろしくお願い致します。



指導課：齋藤

12月から真友ゼミで指導員をしています齋藤です。今回は簡単に自己紹介をさせていただきます。現在24歳の長男を筆頭に3人のこどもの父親をしております。同志社大学法学部を卒業し、大学時代はボート部に所属。57歳になった今でも時々、鏡のようにきれいな水面の上でオールを漕いだ情景を思い出すことがあります。「大学進学を志す若者の、道を拓いていく一助となれば」と考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

クチコミ・感想募集中！（URLをタップ）

真友ゼミでは、塾ナビやGoogleMAPへのクチコミを募集しています！
いただいたクチコミは、校舎運営の参考や講師陣の励みにさせていただきますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします！

（紙面の方は「塾ナビ 真友ゼミ」またはGoogleMAPで「真友ゼミ」とご検索ください）

◆塾ナビ (https://www.jyukunavi.jp/review/sms/input?juku_id=14139)

◆GoogleMAP

新 潟 校 (<https://g.page/shinyuzemi-niigata/review?rc>)

三 条 校 (<https://g.page/shinyuzemi-sanjyo/review?rc>)

六 日 町 校 (<https://g.page/shinyuzemi-muikamati/review?rc>)

長 岡 校 (<https://g.page/shinyuzemi-nagaoka/review?rc>)

上越高田校 (<https://g.page/shinyuzemi-takada/review?rc>)

仙 台 校 (<https://g.page/shinyuzemi/review?rc>)



感想・リクエストはこちら

「こんな情報が知りたい」など、受験・進路に関してゼミ通信やHPで取り上げてもらいたい内容やご質問などがありましたら、こちらのフォームからお気軽にご送信下さい！感想もお待ちしています！

(URLをタップ)

◆<https://forms.gle/K88xyv44gbnDfaYp9>

編集あとがき（仙台校 佐藤）

1月中旬頃からオミクロン株が猛威を振るい続けています。ただ、感染経路が接触感染、飛沫感染である以上やることは変わりません。手洗い、手指消毒、換気。この3つを再度意識して生活をしましょう。受験生はもちろん、1,2年生も学年末テストが始まります。各々が健康状態で試験を受けられるよう気をつけましょう！

